

も り

# 森林とのふれあい!

## 日本生命水戸・石岡・水戸北・勝田営業部社員による枝打ち



看板の前で記念撮影。



下平署長の挨拶

5月12日(土)常陸太田市横川入国育林にある、「ニッセイ常陸太田の森」において、日本生命水戸支社及び石岡・水戸北・勝田営業部の社員合わせて38名が当署署長より、「森を育てることは、きれいな空気、おいしい水などさまざまなことに役立ちます。」などの挨拶を受け、常陸太田森林組合・茨城森林管理署の職員12名の指導のもと、クヌギ・ヒノキ林の枝打ち作業を行いました。

当日の作業場所は8年前にヒノキ・クヌギを植林した箇所です。今年には枝打ち作業を行いました。参加者の一人は「植林の時には参加したが、8年も経つとこんなにも育つんだな〜っ。」と深く感心していました。

作業の内容は、ヒノキ・クヌギの腰から下の枝を伐るといっても、参加者の皆さん全員が集中して安全に作業を行いました。参加者からは「また機会があれば参加したい。」「森が明るくなって気持ちいい。」といった声もありました。



枝打ち作業を丁寧にしています。



参加者の中には、5歳の女の子〜11才の女の子もいて、刃物の取り扱いに心配もありましたが、みんなが率先して周りのサポートもあり、一枝大切に切り落としていました。大粒の汗をかいて笑顔で作業していたのが印象に残りました。

参加者・スタッフ、ケガもなく無事に作業を終えることができました。



子供たちによる作業

ニッセイ緑の財団は、森林づくり事業を全国的に行っており、ニッセイの森として各地で活動を行っています。こういった活動を、これからも継続し広げていってほしいです。

(井あゆみ)



